

小池百合子・都知事独白「人を動かす言葉のテクニック」

PRESIDENT

プレジデント

毎月第2・第4月曜日発売 2016.10.31号
特別定価750円

男を動かす、女を動かす 「超」ウケる 言い方

信頼される、口説ける、仕事がうまくいく



周りが絶賛

3分で笑わせる

やる気に火をつける

「バカに見えると赤つ恥」 うつかり使うと赤つ恥

よく仕事で遭遇するカタカナ語の本当の意味、知っていますか。ペンドイングにせず学ぶかどうかはあなたマター。ベネフィットもあります。

「バカに見えると赤つ恥」 うつかり使うと赤つ恥



井上逸兵
Ipppei Inoue

慶應義塾大学文学部教授。
専門は英語学・社会言語学。
著書に『バカに見えるビジネス語』など多数。

若者言葉・ビジネス用語・外来語など、
社会の状況を反映する言葉の動向を
研究している。

著書に『バカに見えるビジネス語』
〔サバイバルイングリッシュ〕
〔よく見るのは読めない漢字〕など多数。

フレームワーク、コモディティ……。
なぜ人は一般的でないカタカナ語を使
いたがるのか。理由はいくつか考えら
れます。

ひとつは、単純に格好がいいから。
普段使われない言葉を使うことで、「自
分は外国の言葉や文化を知っている」
という自己顕示になります。相手がわ
からなければ優位に立てるし、議論で
煙に巻く効果もあるでしょう。逆に、

「チャレンジング」は、実は「難しい」
の意味しか持たない単語。よって
「難しいから、やめるべき」と言いたい
人もいる一方、困難なことへの
挑戦を表す「チャレンジ」に引っ張
られ、「挑戦しがいがあるから、やる
べき」のつもりで用いる人もいる。
人によって解釈が曖昧なので、ニ
ュアンスを正確に聞き出したほうが
いい。

「ベネフィット」には、「利益」のほかに「恩恵」や「福祉手当」「慈善興行」などの意味がある。金銭的な利益も含むが、便益が付加的に得られるようなイメージが強い。ガツガツお金儲けたいという雰囲気は消そうという意図が見え隠れすることがある。報酬の意味が強い場合は「メリット」を使うほうがふさわしい。

「共有関係をつくる手段としても有効で
す。特定の言葉をお互いに知っている
と、「この言葉を使っても大丈夫」と
いう安心感から仲間意識が生まれます。
そして日本語に置き換えるのが難し
く、カタカナでしか表現しようがない
言葉もあります。IT業界では日進月
歩で新しい概念や言葉が生まれ、日本
語に訳している暇がありません。明治
時代の初期、日本になかった外国の概
念が入ってきたとき、啓蒙思想家たち
は「ソサエティ」を「社会」など、訳
語をつくっていました。それがだん
だん間に合わなくなり、カタカナ語が
増えていった経緯もあります。

また、古くからあつたものを新しく
見せる手段としても使われます。「国
際交流」を「国際コミュニケーション」、
「環境影響評価」を「環境アセスメント」
……。看板だけをすげ替え、予算獲
得を目指す省庁にありがちな手法です。
そもそも日本語は外来語を定着させ

紛らわしい

編

それは
チャレンジングだね。

「チャレンジング」は、実は「難しい」
の意味しか持たない単語。よって
「難しいから、やめるべき」と言いたい
人もいる一方、困難なことへの
挑戦を表す「チャレンジ」に引っ張
られ、「挑戦しがいがあるから、やる
べき」のつもりで用いる人もいる。
人によって解釈が曖昧なので、ニ
ュアンスを正確に聞き出したほうが
いい。

.....

社内のコンセンサスは
どれているの?

「集団の中での合意」を意味する
「コンセンサス」を、一部の業界では
「根回し」として用いることがある。
だが井上さんによると、「これは誤
り。おそらく『合意を得るため、陰で
工作してほしい』の後半部が独立
したのでしょう。また『オーソライズ』
を『合意』の意で使う人がいますが、
上の人が認可を与えるというのが
本来の意味です」。

.....

ベネフィット、
期待できるの?

「ベネフィット」には、「利益」のほかに「恩恵」や「福祉手当」「慈善興行」などの意味がある。金銭的な利益も含むが、便益が付加的に得られるようなイメージが強い。ガツガツお金儲けたいという雰囲気は消そうという意図が見え隠れすることがある。報酬の意味が強い場合は「メリット」を使うほうがふさわしい。

「共有関係をつくる手段としても有効で
す。特定の言葉をお互いに知っている
と、「この言葉を使っても大丈夫」と
いう安心感から仲間意識が生まれます。
そして日本語に置き換えるのが難し
く、カタカナでしか表現しようがない
言葉もあります。IT業界では日進月
歩で新しい概念や言葉が生まれ、日本
語に訳している暇がありません。明治
時代の初期、日本になかった外国の概
念が入ってきたとき、啓蒙思想家たち
は「ソサエティ」を「社会」など、訳
語をつくっていました。それがだん
だん間に合わなくなり、カタカナ語が
増えていった経緯もあります。

また、古くからあつたものを新しく
見せる手段としても使われます。「国
際交流」を「国際コミュニケーション」、
「環境影響評価」を「環境アセスメント」
……。看板だけをすげ替え、予算獲
得を目指す省庁にありがちな手法です。
そもそも日本語は外来語を定着させ

勘違い

編

あなたが考へてゐる意味と、本当の意味は全く違います

うつ病だって、会社には
なかなかカミングアウト
できないよね。

「告白する」「隠していた悩みを打ち
あける」という意味で、一般的にもよく
使われる「カミングアウト」。しかし
英語で使用されるのは、ほぼ「同性
愛者であることを告白する」に限った
場合だ。「だから外国人に話すとき
は注意が必要。否定的な告白は
『コンフェス』『カム・クリア』とい
う言葉を使用します」(井上さん)。

前回のコンペで負けた
リベンジを果たそう。

スポーツ界から発祥し、日常用語と
して定着した「リベンジ」は、「挽回
する」「再挑戦」の意味で気軽に
使用される。しかし本来の意味は
「復讐」や「報復」。相手を傷つけ
る意志を持った、憎悪にあふれた
言葉なのだ。海外では耳にする機会は
少なく、ビジネスシーンでは安
易に使わないほうが賢明である。

このプロジェクトの
経緯については、
君にアカウンタビリティ
があるだろう。

アカウンタビリティとは、日本では会
社などの組織がしたこと、することに
対して「説明する責任がある」という
意味で使われているが、本来の英
語では単に説明するだけでなく、責
任を負うところまでを意味する。アカ
ウンタビリティがある人が説明責任
を果たさなければ、クビを切られる
ということにもなりかねない言葉だ。

社会の現象を反映する言葉の動向を研究している。著書に『バカに見えるビジネス語』『よく見るのに読めない漢字』など多数。

『サバイバルイングリッシュ』

紛らわしい

編

定義が曖昧なまま使うと、混乱を招きます

煙に巻く効果もあるでしょう。逆に、からなければ優位に立てるし、議論で

という自己顕示になります。相手がわざと見せます

時代の初期、日本になかった外国の概念が入ってきたとき、啓蒙思想家たち

語に訳している暇がありません。明治

語をつくっていきました。それがだん

だ間に合わなくなり、カタカナ語が増えていった経緯もあります。

また、古くからあつたものを新しく見せる手段としても使われます。「国際交流」を「国際コミュニケーション」、「環境影響評価」を「環境アセスメント」

……。看板だけをすげ替え、予算獲得を自論む省庁にありがちな手法です。

それは
チャレンジングだね。

「チャレンジング」は、実は「難しい」の意味しか持たない単語。よって「難しいから、やめるべき」と言いたい人もいる一方、困難なことへの挑戦を表す「チャレンジ」に引っ張られ、「挑戦しがいがあるから、やるべき」のつもりで用いる人もいる。人によって解釈が曖昧なので、ニュアンスを正確に聞き出したほうがいい。

社内のコンセンサスは
とれているの?

「集団の中での合意」を意味する「コンセンサス」を、一部の業界では「根回し」として用いることがある。だが井上さんによると、「これは誤り。おそらく「合意を得るため、陰で工作してほしい」の後半部が独立したのでしょうか。また『オーソライズ』を「合意」の意で使う人がいますが、上の人が認可を与えるというのが本来の意味です。」

ベネフィット、
期待できるの?

「ベネフィット」には、「利益」のほかに「恩恵」や「福祉手当」「慈善興行」などの意味がある。金銭的な利益も含むが、便益が付加的に得られるようなイメージが強い。ガツガツお金を儲けたいという雰囲気は消そうという意図が見え隠れすることがある。報酬の意味が強い場合は「メリット」を使うほうがふさわしい。

勘違い

編

あなたが考へていている意味と、本当の意味は全く違います

うつ病だって、会社には
なかなかカミングアウト
できないよね。

「告白する」「隠していた悩みを打ちあける」という意味で、一般的にもよく使われる「カミングアウト」。しかし英語で使用されるのは、ほぼ「同性愛者であることを告白する」に限った場合だ。「だから外国人に話すときは注意が必要。否定的な告白は『コンフェス』『カム・クリア』という言葉を使用します」(井上さん)。

前回のコンペで負けた
リベンジを果たそう。

スポーツ界から発祥し、日常用語として定着した「リベンジ」は、「挽回する」「再挑戦」の意味で気軽に使用される。しかし本来の意味は「復讐」や「報復」。相手を傷つける意志を持った、憎悪にあふれた言葉なのだ。海外では耳にする機会は少なく、ビジネスシーンでは安易に使わないほうが賢明である。

このプロジェクトの
経緯については、
君にアカウンタビリティ
があるだろう。

アカウンタビリティとは、日本では会社などの組織がしたこと、することに対して「説明する責任がある」という意味で使われているが、本来の英語では単に説明するだけでなく、責任を負うところまでを意味する。アカウンタビリティがある人が説明責任を果たさなければ、ケビを切られるということにもなりかねない言葉だ。

ひとりよがり

編

使っていて気持ちいいのは自分だけかもしません

これはまだ
ジャストアイデア
なんですが……

「思いつき」のニュアンスを含ませて用いられる「ジャストアイデア」は、英語として「?」の表現だ。「ちょっとしたアイデア」と言いたいなら、「イツツ・ジャスト・アン・アイデア」と不定冠詞を入れる必要がある。「まさに今」を表現したいなら「ジャスト・ナウ」ではなく「ライト・ナウ」のほうが適当。

ドラスティックな
転換が求められる

混同しがちな「ドラスティック」「ドラマティック」「ダメスティック」。名詞で「劇薬」を差す「ドラスティック」は、効き目が強いことから「徹底的に、思い切った」の意味。「ドラマティック」は「演劇的」、「ダメスティック」は「国内の、家庭内の」を表す。「家庭内暴力=ダメスティック・バイオレンス」は思い出す一助になる。

今、その分野の
マーケットは全体に
シユリンクして
いるからね……

「縮小する」の英語由来の「シユリンク」は、ほぼマーケットの話題だけに使われる。「マーケットが拡大しても「インクリーズする」などとは言いません。これはカタカナ語による婉曲表現として発達したのでしょうか。『危険』は「リスクがある」、『職安』は「ハローワーク」と表現したほうが、角が立ちませんから」(井上さん)。

「ダイバーシティ」を どう言うか

鈴木 工=構成

ぶつとび 編

本来の意味からは見当もつかないくらい変化しています

景気低迷の中で、多くの企業が行ったのが組織のフラット化だ。

「フラット」には「平らになる」の意味があり、組織の「フラット化」は、上下関係の差異が少くなり、効率化が進むことを示す。さらに最近ではベストセラー『フラット化する世界』の影響もあって、プロとアマチュアの差や世界の経済的格差がなくなることなど、より広い概念を表す言葉として用いられる。

環境保全活動と
利益創出活動は
ニアリーイコールと言えます。

記号で表せば「ニ」。「近似、ほぼ新しい」という意味で、英語では日常的に使われている。しかし副詞+形容詞という文に近い構成を持つこともあって、現時点では口頭で用いると戸惑う相手も少なくないだろう。親しい仲間であれば、「『ほぼ同じです』と言い換えたほうがいいのでは?」(井上さん)。

明日、デッドですから。

「締め切り」は英語で「デッドライン」。それがいつしか短縮して、「デッド」と表現する人は多い。しかし英語で「デッド」は「死んでいる」ということ。「作業の流れを示す『ワークフロー』が略された『フロー』も、意味が多すぎて理解しにくい。言いやすくなるメリットもありますが、省略するのも一長一短です」(井上さん)。

言語学は言葉がどう使われるかに注目する学問で、カタカナ語が使われる事自体を良い悪いではと言えません。ただ乱用する風潮は個人的に好きではありませんし、相手がわからないと思つたら日本語に置き換えてあげるべきです。その心遣いはビジネスマナーに通じるのではないでしようか。

P

歩で新しい概念や言葉が生まれ、日本語に訳している暇がありません。明治時代の初期、日本になかった外国の概念が入ってきたとき、啓蒙思想家たち

語をつくっていきました。それがだん

だ間に合わなくなり、カタカナ語が増えていった経緯もあります。

また、古くからあつたものを新しく見せる手段としても使われます。「国際交流」を「国際コミュニケーション」、「環境影響評価」を「環境アセスメント」

……。看板だけをすげ替え、予算獲得を自論む省庁にありがちな手法です。

そもそも日本語は外来語を定着させ得を自論む省庁にあります。相手がわざと見せます

たる間に合わなくなり、カタカナ語が増えていった経緯もあります。

また、古くからあつたものを新しく見せる手段としても使われます。「国際交流」を「国際コミュニケーション」、「環境影響評価」を「環境アセスメント」

……。看板だけをすげ替え、予算獲得を自論む省庁にあります。相手がわざと見せます